

薬の伝言板 ジェネリック医薬品

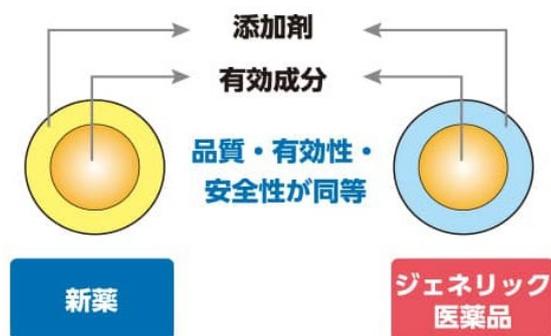


No.284 2021年7月

丸子中央病院 薬局

保険薬局で薬を調剤してもらう時、先発医薬品にするかジェネリック医薬品にするか尋ねられたことがあるかと思います。こだわりのある方もいらっしゃると思いますが、よく分からないからどちらでも良いという方も多いのではないのでしょうか。今回は先発医薬品とジェネリック医薬品の違いについて、さらに最近新たに登場してきたオーソライズドジェネリックについてお話します。

ジェネリック医薬品は、先発医薬品の特許期間が終了した後に他の製薬会社から販売される医薬品です。先発医薬品と形や大きさ、味や香りなどの添加剤が異なる場合がありますが、同じ有効成分を使用しており、品質、効き目、安全性に差はありません。



(図：日本ジェネリック製薬協会HPより)

ジェネリックは値段が安いけど、安心して服用できる？



先発医薬品は10年以上の歳月と何百億円規模の費用をかけて開発されるため値段が高くなります。しかしジェネリック医薬品は先発医薬品の特許終了後に同じ有効成分を使用して製造されるため、開発費や開発期間が少なく、低価格で提供できます。決して積極的に安い材料を使用しているから低価格であるというわけではありません。

ジェネリック医薬品に使用される添加剤



添加剤は、それ自身が体に作用したり有効成分の効き目を妨げるものは使用されません。国に承認された安全性・安定性の高い添加剤のみが使用可能となっています。

ジェネリック医薬品の中には、飲みやすく工夫されたものがある



ジェネリック医薬品の中には、先発医薬品と大きさや形などが異なるものがあります。これは、先発医薬品が発売された頃にはなかった製造技術があったり、製薬企業が患者様のニーズに合わせて飲みやすい製剤を開発することがあるためです。形が変わっても効果に差はありません。

ジェネリック医薬品については近年注目が高まっていることもあり、ご存じの方も多かったのではないかと思います。ですが、「オーソライズドジェネリック(AG)」というジェネリック医薬品を聞いたことはあるでしょうか。後半はこのオーソライズドジェネリックについてご紹介します。

オーソライズドジェネリック (AG) とは

一般的に、有効成分のみではなく、添加剤や製造方法等が先発医薬品と同一であるジェネリック医薬品のことをいいます。先発医薬品のメーカーから特許実施の許諾を得ることにより、他のジェネリック医薬品に先行して特許切れの半年前から販売することができます。

	有効成分	効能効果	添加剤	形状・色・味	製造方法
ジェネリック	同一	同一	異なる	異なる	異なる
AG	同一	同一※	同一	同一	同一

※再審査対象の適応症を除く

オーソライズドジェネリックのメリット・デメリット

〈メリット〉

- ・添加剤や製造方法が先発医薬品と同じであるが、一般的なジェネリックと同じく薬価が安い
- ・安定した薬剤供給が可能
- ・添加剤の違いによるアレルギーが起こったりする可能性が少ない

〈デメリット〉

- ・一般的なジェネリック医薬品でみられる製剤的工夫がない
- ・すべての医薬品に AG があるわけではなく、現時点でその種類は少ない



当院採用のオーソライズドジェネリック

アムロジピン OD 錠 2.5mg、5mg 「ファイザー」
エスワンタイホウ配合 OD 錠 T20、T25
レバミピド錠 100mg 「オーツカ」
クロピドグレル錠 25mg、75mg 「SANIK」

ドキサソシン錠 2mg 「ファイザー」
ペポタスチン OD 錠 10mg 「タナベ」
カデチア配合錠 HD 「あすか」

など

ジェネリック医薬品を処方・調剤してもらうには



ジェネリック医薬品は、医師の処方により医療機関や保険薬局で調剤される医療用医薬品であり、市販薬のように患者様自身で購入することはできません。保険薬局に処方箋を持って行った際にジェネリック医薬品を希望していることを伝えましょう。また、すべてのおくすりにジェネリック医薬品があるとは限りませんので、医師や薬剤師にご相談ください。

文責 薬局 宮川・手塚